

事務事業名		豊田生涯学習推進事業		目標設定日	令和2年3月1日
総合 計画 体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	課・室	豊田公民館
	施策	01	社会教育・生涯学習の充実	係	
予算 体系	会計	一般会計		内線電話	8208
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	各種講座等については、安易な既存踏襲ではなく、常に開催意義や市民ニーズ等を検証しながら実施する。	
現状・課題	市民ニーズの的確な把握に努め、コストを抑えながら事業を企画立案し、効率的に実施する。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	各種講座、文化イベント等の開催		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	各種講座、イベントの実施回数		年間40回
	各種講座、イベントへの参加人数		年間2,500人

事務 イン 事業 プ コス ト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		4,333,000	4,309,000
補正・流用等		円		0	0	—
合計		円		4,333,000	4,309,000	4,965,000
決算（見込）額 A			円	3,852,061	4,004,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	0	0	0
		県支出金	円	0	0	0
		市債	円	0	0	0
		その他特定財源	円	0	0	1,000
	一般財源	円		3,852,061	4,004,000	4,964,000
正規職員数		人		0.55	0.55	0.55
人件費 B		円		3,538,700	3,543,100	3,543,100
総事業費 A+B		円		7,390,761	7,547,100	8,508,100
市民1人当たりコスト		円		173	177	201

成果指標	アウトカム	方向		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
各種講座等の参加人員		維持	目標	1,300	人	800	人	1,000	人
			成果	1,438	人	1,800	人	—	
イベントの参加人員		維持	目標	1,700	人	1,500	人	1,500	人
			成果	1,760	人	150	人	—	
成果指標と目標値を設定した理由	講座・イベントについては、類似のものや集客減少傾向にあるものを中心に個々に見直しを行っている。また、人口減少や少子高齢化も見据え、当該目標値を設定した。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	下げる	成果	維持する
	過去の経緯にとらわれることなく、開催意義やその成果、市民ニーズ等を個々に検証しながら、事業を実施する。						

